

第 2 0 回 立 川 市 景 観 審 議 会

平成 3 0 年 4 月 1 1 日 (水)

○日 時 平成30年4月11日（水曜日）午前9時30分

場 所 立川市役所本庁舎2階 205会議室

会 長 8番 堀 繁 君

1番 加藤 眞理 君 5番 酒井 京子 君

6番 杉山 朗子 君 7番 古川 公毅 君

9番 萬田 和正 君 10番 宗像 ヨシ子 君

11番 山口 晶敬 君

○欠席委員（4名）

副 会 長 3番 小林 茂雄 君

2番 川崎 和彦 君 4番 小松 清廣 君

12番 山崎 誠子 君

○出席説明員

副 市 長 田 中 良 明 君 まちづくり部長 小 倉 秀 夫 君

都市計画課長 武 藤 吉 訓 君 景 観 係 長 後 藤 貴 子 君

景 観 係 主 事 齊 藤 史 晃 君

○届出者（8名）

○議事次第

1 開 会

2 副市長挨拶

3 議 題

(1) 意見聴取

・事前協議案件「立川市立若葉台小学校新校舎建設工事」について

(2) その他

・立川市景観計画一部変更について

・平成29年度景観施策実施について

4 閉 会

開会 午前9時30分

○武藤都市計画課長 それでは、定刻になりましたので、ただいまから立川市景観審議会を開催したいと存じます。

初めに、4月1日付で都市計画課長になりました武藤と申します。よろしく申し上げます。都市計画課には平成19年4月から約1年半、立川駅前の再開発事業担当ということで都市計画課には在籍していたんですが、その再開発事業が進んだことに伴い新設された再開発課に異動しまして、それから約10年間、再開発事業の担当をしていました。昨年1年間、下水道管理課にいまして、今年の4月から都市計画課長になりました。

平成19年当時は景観行政団体は東京都さんということで、再開発ビルの景観について、立川市には意見照会という形で来ていたと思いますが、平成24年から景観行政団体になったということで、立川市で進めております。今後も引き続き事業について進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

初めに、資料の確認をお願いしたいと思います。

本日使用する資料といたしましては、次第(案)、資料1を事前に送付させていただいております。次に、次第の「(案)」が取れたもの、4月1日より一部変更になりました立川市景観計画一部変更についての資料を、本日、机上配付しております。過不足はございませんでしょうか。

ないようですので、本日は、小林副会長、川崎委員、小松委員、山崎委員がご欠席となっております。

○武藤都市計画課長 それでは、審議会開催に当たり、田中副市長よりご挨拶申し上げます。

○田中副市長 おはようございます。副市長の田中でございます。

本日は大変お忙しいところ、年度当初のまことに慌ただしいところ、景観審議会を開催いただきましてまことにありがとうございます。

本日ご意見をいただきますのは、立川市立若葉台小学校新校舎建設工事でございます。この若葉台小学校におきましては、旧若葉小それから旧けやき台小は統合いたしまして、けやき台小学校の跡地に新たに新校舎を建設するものでございまして、3年後の平成33年4月の開設を予定してございます。既に新築までの間は、旧若葉小において授業を行うこととしておりまして、つい先週の金曜日、旧若葉小におきまして若葉台小の開校式

を行ったところでございます。校歌につきましても、本市の交流大使のジャズピアニストの山下洋輔さんをお願いしているところでございます。この建設に当たりましては、未来を担う子供たちのためにということで、よい学びの場をつくっていききたいというふうに考えてございます。ぜひご審議をよろしくお願ひしたいと思ひます。

以上でございます。よろしくお願ひいたします。

○武藤都市計画課長 ありがとうございます。引き続きまして田中副市長より意見聴取の依頼をお願いしたいと思ひます。

○田中副市長 立川市景観審議会 会長 堀繁殿。

立川市長 清水庄平。

行為の事前協議等について意見聴取。

貴審議会に次の事項について意見聴取します。

記。

事前協議案件 立川市立若葉台小学校新校舎建設工事について。

意見聴取理由 立川市立若葉台小学校新校舎建設工事について、立川市景観条例第15条第3項の規定に基づき、貴審議会の意見を聴取するものでございます。

よろしくお願ひします。

(意見聴取文 手交)

○武藤都市計画課長 それでは、会長、進行のほうをよろしくお願ひいたします。

○堀会長 本日は、意見聴取案件の届出者にお越しいただいております。立川市景観条例施行規則第37条第8項には、「審議会は、必要があると認めるときは、委員以外の者に出席を求め、意見を聴くことができる」としてありますが、これについてご異議のある方はいらっしゃいますでしょうか。よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○堀会長 ご異議がないようですので、審議会として出席を求めることといたします。届出者の方の入室をお願ひいたします。

(届出者 入室)

○堀会長 よろしいでしょうか。

それでは、議事に入りたいと思ひます。

議題の1、意見聴取、事前協議案件、立川市立若葉台小学校新校舎建設工事についてでございます。事務局よりご説明をお願いいたします。

○武藤都市計画課長　それでは、立川市立若葉台小学校新校舎建設工事についてご説明いたします。

本件につきましては、平成30年3月26日付で、立川市景観条例に基づき景観計画区域内における行為の事前協議書を受理しています。まず事前に送付させていただいております資料1をごらんください。

本件の土地は旧けやき台小学校のある場所で国分寺市との市境にあります。

敷地面積は1万5,978.62平米、立川市景観計画における区分としまして、砂川地域、幹線道路軸に位置しております。

砂川地域の景観形成の目標としましては、「五日市街道沿道の郷土の歴史・風致がのどかな農ある景観と調和する景観づくり」としております。

幹線道路軸の景観形成の目標としては、「幹線道路の沿道の街並みがバランスよく感じられる景観づくり」としております。

若葉台小学校は、若葉小学校とけやき台小学校を統合し、現在は旧若葉小学校の校舎において授業を行っておりますが、旧けやき台小学校の場所に新校舎を建設することとしており、本案件は同校の新校舎に係る事前協議となっております。詳細につきましては、所管しております教育部教育総務課及び建築事業を監理する行政管理部施設課より別途ご説明があります。

説明は以上です。

○堀会長　それでは次に、届出者よりご説明をいただきたいと思っております。どうぞよろしくをお願いいたします。

○庄司教育総務課長　それでは、私、教育総務課長の庄司と申します。どうぞよろしくをお願いいたします。

私のほうからは、今回統合ということでこの学校が計画されているところでございます。その経過、先ほど事務局からも若干触れましたけれども、統合の経過あるいはこのマスタープランに基づくものであるというところの部分の説明をさせていただきまして、その後、事業の説明につきましては施設課長のほうから説明をさせていただきます。

まず私のほうから若干、今回の新校舎の建設に当たった経過につきましてご説明をさせていただきます。

まず経過につきましては、平成27年3月議会に、けやき台小学校と若葉小学校の統合及び新学校設立に関する請願が提出されて採択されました。教育委員会では、この採択された請願につきまして、内容を踏まえて対応方針を教育委員会や市長部局、市長が参加する総合教育会議等において慎重に協議をしたところでございます。

なお、けやき台小学校と若葉小学校を合わせた児童数については、32年度に約600名ほどになります。さらに平成35年度には、両校の児童数が480人まで減少することが想定されております。実は最新情報で、ここで開校式を迎えさせていただきましたが、両校合わせて690名でした。どんどん子供の数が若葉地区では減っていきまして、両校とも小規模になることが想定されていまして、そういう実態を踏まえまして、両校を統合することによって小規模のさまざまな課題の解消につながるということで、また、新しい校舎ができることで若葉町全体の地区の活性化につながるということを考えまして、平成27年9月に、教育委員会におきましてけやき台小学校と若葉小学校を統合して新学校を設置する方針を決定しまして、また、同様に9月にけやき台小学校の敷地に新校舎を建設する方針を市長決定したところでございます。

これを受けましてマスタープランということの部分になります。まずスケジュールでございますが、この4月にけやき台小学校と若葉小学校を統合して両校を閉校した上で、両校を統合して若葉台小学校を開校し、30年から32年度までは今の若葉小学校、3月までの若葉小学校の校舎を使って3年間、新学校を運用していきます。その間にけやき台小学校を解体して新校舎を建設しまして、33年4月に建てかえた学校で子供たちが学ぶこととなります。

マスタープランでございますが、こちらにつきましては、この設計の前段階で新校舎の基本構想ということで、学校づくりの基本理念や配置案などを決めてまいりました。これにつきましては、28年度に学識の方あるいは地域団体の方が推薦する方、公募市民、当該校の校長、副校長あるいは九中の校長らで、建設する新校舎マスタープランの検討委員会を、29年3月までに計9回開催しまして、新校舎に関する基本方針や配置等を決定したものでございます。その間、児童、保護者や自治会長を対象にしたアンケートや学校のヒアリングや、あとはワークショップ、あるいは説明会を14回開催させていただきました。そういう中で今回具現化して今お手元に設計があるようなことでございます。

そうした形で今後、このマスタープランに基づいて29年度基本設計が大体終わっていきまして、30年度に実施設計に入っております。最終的には新校舎につきましては31年

度夏頃に工事を開始しまして、33年3月に完成する予定となっております。そういった形での計画でございます。

私からの説明は以上でございます。よろしく申し上げます。

○小林施設課長　　続きまして、施設課長の小林でございます。

具体的な内容についてご説明させていただきます。

資料に沿ってご説明させていただきたいと思っております。まず1ページをごらんください。事務局からもご説明がありましたけれども、まず計画概要についてご説明させていただきます。

新しく若葉台小学校を建設する敷地でございますが、現在けやき台小学校の建っている敷地でございます。

住所としましては立川市若葉町一丁目13番地1号、なお、一部国分寺の敷地となっております。

敷地周囲につきましては北側道路、こちらが市道で幅員が16メートル、南側、西側についても市道で、幅員が10.5メートルの道路に面しております。なお、東側道路については団地内通路となっております。

景観計画区域における位置づけとしましては、基本区分としては砂川地域、立地区分としては幹線道路軸（すずかけ通り）になっております。

建物概要につきましては構造種別、こちら校舎が鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造となりまして、体育館につきましては鉄骨鉄筋コンクリート造。

階数は地上4階建て。

主要用途は小学校・学童保育所となります。

建築面積、4,381.86平方メートル、延べ床面積、1万539.36平方メートル、高さは19.7メートルの計画となります。

続きまして、2ページをごらんください。計画コンセプトについてご説明してまいります。立川新校舎マスタープランにおいて策定されたコンセプトの一つである「また明日来たくなる楽しい学校づくり」、こちらを実現するため、安全な登下校空間の検討、登校してくる子供たち、来校者をお迎えするデザインとして正面となる北側立面のあり方を、以下のような項目について検討いたしました。

まず配置について、北側については隣接する団地の壁面の位置を考慮しまして沿道への圧迫感の軽減を図ってまいります。

北側の正門周りではソメイヨシノ、これは60年程度がたっており、大きく育っております。ただし、寿命が近いことから伐採して新たにヤマザクラ、エドヒガン、シダレザクラを植栽し、イメージを継承してまいります。南側の国分寺市側の敷地には既存の緑がございまして、カーブする道の見通しを継承してまいります。

北側の外壁につきましては、長大な壁面とならないようにボリュームを分節し、端正なグリッドを基調としたデザインとしていきます。

外観についてでございますが、外壁は同一色の巨大な壁面とならないよう工夫しまして、一部アクセントとして濃い色彩、基本色2、こちらを用いまして圧迫感の軽減を図ってまいります。また、北側壁面の一部には、これからの若葉台小学校の歴史を長く営むことのできる材料として、風合いのあるれんがを選定しています。これらの取り組みにより子供たちの記憶に残る学校づくりを行ってまいります。

続きまして、高さ・規模について、北側道路への圧迫感を低減しケヤキ並木と調和を図るため、4階部分をセットバックし高さを抑えた計画とします。

○堀会長　　ちょっといいですか。

一番後ろのページに模型がついているので、これ北側なので今の説明のやつなので、これを見ながらだとイメージがつかみやすいかと思しますので参考に、すみません。

○小林施設課長　　緑化・植栽についてでございます。北側広場は子供たちが楽しく登下校できる空地、ベンチ、植栽（桜、カツラ、花木等）を設けてまいります。

外構についてでございます。北側については新たに道路に面して植栽帯、空地を設け、今後の周辺環境をリードできるつくりとします。東側、南側は土どめを周辺や建物の雰囲気と合わせた意匠を施します。塗装とかそういうものですね。

照明について。安全・安心な学校づくりとしまして、夜間には学校が常夜灯のような役割をしまして北側道路から暗くならないようにすることで、安心できるつくりといたします。

歴史・自然について、ソメイヨシノ以外の既存樹木を保存し、親しまれてきた景観を生かす計画としてまいります。

その他でございますが、東面は団地と視線が交差する懸念があったため、極力窓を設けないデザインとしてまいります。

続きまして、北側広場のコンセプト、3点について説明させていただきますので、申しわけございません、2ページの右側です。こちらをご参照ください。横断歩道、北東

角からのスムーズな動線、自転車と子供の動線を分離した安全な登下校の空間づくり、こちらを実現する手法としまして、横断歩道から広場へのスムーズな動線をつくります。歩道との境界部の敷地側に信号待ちのできる場所をつくりまして、歩道利用者と信号待ちの子供たちとの交錯を減らしてまいります。また、北東角からのスムーズな動線をつくってまいります。この場所は植栽によりお迎えする空間といたします。西側には駐車場を設けますが、その箇所は歩道を拡幅し安全に配慮してまいります。また、車椅子の駐車場からのスムーズな動線を確保します。

②番としまして、「登校してきた子供たちが安全に集合できる広いたまりの空間をつくる。」、こちらを実現する手法としまして、北側広場は植栽と建物によって囲まれた安全に守られた広いスペースを確保いたします。建物に入る前に、北側道路から守られた完全に子供たちがたまることのできる広い空間を確保します。その広場を眺めることのできる位置にベンチを設ける計画といたします。

③番としまして「地域の方々、子供たちの交流空間をつくる。」、こちらを実現する手法としまして、広場へ引き込むよう樹木を斜めに配置してまいります。植栽と一体化したベンチスペースを計画します。また、コミュニティールーム前に、こちらにもベンチを設けまして、展示スペース、コミュニティールームとのつながりを意識したベンチを配置します。そこにはベンチとあわせて植栽を設け、また、舗装も変えることで領域をつくり、地域の方々、子供たちの憩いの場となるよう計画します。ソメイヨシノが植えられていた場所については、寿命の新しい樹木に植えかえます。ただし、ソメイヨシノよりも長寿命なエドヒガン、シダレザクラに植えかえることで、桜の記憶を継承する計画といたします。

続きまして、3ページをごらんいただければと思います。これは周辺の現況写真となっております。簡単にご説明しますと①番、敷地の北西角に当たります。既存の体育館によりまして交差点の見通しが確保できておりません。

続いて⑥番、南側のカーブしているところ、こちらは敷地、隅切り部分が長くなって直線となっております、これは広いたまりというスペースができております。

もう一枚めくっていただいて⑩番、東側道路になりますけれども、これは団地内通路でございますが、一方通行の道路となっております、道路と歩道があり車通りが多いといった状況となっております。

次、⑭番でございますが、北側道路に面してなんです、歩道はありますけれども、

幅が狭くて朝、特に歩行者と自転車の行き来が多い状況となっております。

最後に⑮番、北側道路の交差点に面した門でございますが、歩行者と車両動線が交差しているといった状況となっております。

続きまして、5ページをごらんいただければと思います。これは全体の配置図、緑化計画でございます。

南側に校庭を配置しまして北側に校舎を配置しております。基本的な配置計画としましては既存校舎の配置計画を踏襲しておりますが、昇降口を北側道路側に設けております。

敷地北西に4台分の駐車場を設けます。車椅子駐車場を昇降口に近いこの位置に設け、バリアフリーに配慮します。また、敷地南東には10台程度の来客用の駐車場を設けてまいります。

また、屋外倉庫、トイレをあわせて計画いたします。

屋外倉庫の前には芝敷きのプレイコートを整備しまして、子供たちが伸び伸びと遊ぶことのできる場所を設けてまいります。

敷地の現存する既存樹木は基本的には全て残す計画としております。ただし、先ほどから説明しておりますソメイヨシノにつきましては、寿命となりまして倒木のおそれがあるため、ソメイヨシノが既存で植えられている場所、AからNのところ、北側、東側、そういったところには、植えかえる計画としております。

続きまして、6ページをごらんいただければと思います。こちらは舗装計画について記載しております。

建物のエントランスとしてふさわしい舗装の計画とします。上部写真右側のようなイメージのようなグラデーションによる舗装としまして、人の通る動線を表現します。人が通る場所は薄い色、人が滞留する場所は濃い色の舗装を施しますが、広場部分の舗装については、形や図形を用いたゲシュタルト舗装を取り入れたいというふうにご考えておるところでございます。ベンチの周りには舗装を変え、滞留する場としての領域をつくります。

また、ベンチの設置についてでございますが、地域の方々、子供たちの交流空間をつくるため、また、たまりの空間として機能するようにベンチを設けてまいります。植栽と一体化したベンチを設けて、上部写真のような真ん中上段です。イメージのような写真で半円型に立ち上がるベンチとすることで、植栽帯と広場をはっきり区切らず緩やか

につながるような計画として考えております。

コミュニティールーム前にもベンチを設けます。展示スペース、コミュニティールームとのつながりを意識したベンチを配置したいと、ベンチとあわせて植栽も設けまして、また、舗装を変えることで領域をつくり、地域の方々、子供たちの憩いの場になるように計画してまいります。

植栽計画についてでございます。広場への出入り口部分がハの字となるように植栽帯をつくりまして、お迎えする空間を演出します。右側の北東角です。北側中央には2本のカツラを植えまして、地域のシンボルとなるような計画としてまいります。

東側には既存でソメイヨシノが植わっておりました。今回新たにソメイヨシノよりも長寿命の桜を植えることで、桜の記憶を継承します。

また、北東角、こちらの部分には、地域の方々や子供たちが世話をする花壇を設けます。花壇によりお迎えする空間づくりを行います。

西側の植栽は花木としております。季節によって違う表情が楽しめる植栽計画を行ってまいります。

それでは、7ページをごらんいただければと思います。立面計画についてご説明いたします。

壁面としてはカーキベージュのレンガで予定しております。コンクリートの打ち放し、これはグレーです。塗装による基本色、少しベージュがかかった白、塗装色による基本色2としまして黄色みがかかったブラウン、こちらを選定しております。

また明日来たくなる学校づくりとして、まちに向いた北側のデザインについてでございます。これらの若葉台小学校の歴史を長く営むことのできる材料としまして、風合いのあるレンガを選定してまいります。子供たちの記憶に残る学校づくりとしたいというふうに考えているところでございます。

学校の活気を地域に広げる工夫としまして、メインアプローチ上部の廊下には移動する子供たちの動きや作品が見える仕掛けをつくります。

アリーナには開口を設け、学校の活気が地域に広がるデザインとしてまいります。

周辺環境との調和でございますが、北側道路への圧迫感を低減しケヤキ並木との調和を図るため、4階部分をセットバックし、高さを抑えた計画としております。また、長大な壁面とならないように3つの建物に分節し、端正なグリッドを基調としたデザインとしてまいります。

ケヤキ並木と調和するアースカラーを基調とした色彩計画として考えております。同一色の巨大な壁面とならないよう工夫しまして、一部アクセントとして濃い色彩を用いて圧迫感の軽減を行ってまいります。

安全・安心な学校づくりとしまして、夜間には学校が常夜灯のような役割をし北側道路が暗くならないようにすることで、安心できるづくりとしてまいります。

続きまして8ページ、これは南側、西側の立面でございますが、今、説明しましたような4種類の壁面、立面で構成してまいります。色合いについては、ごらんとおり今の基本色といったものを使ってまいりたいというふうに考えているところでございます。

すみません、9ページ以降は平面図の説明になりますが、簡単に説明させていただきます。まず1階平面図でございます。1階には中央に昇降口を設けております。また、西側をアリーナとしまして多目的室1、コミュニティールームなど、地域開放を行う室をまとめて計画しています。また、アリーナの南には学童保育所を設けております。アリーナ、学童保育は、西側道路に面した出入り口からアクセスできるように独立玄関を設けております。また、その他1階には特別支援学級や職員室などの管理諸室を設けております。

続きまして、2階でございます。明るい南側に3クラスを1つとした普通教室、オープンスペースをまとめて計画しています。普通教室前には幅の広いバルコニーを設けまして緑化を行う計画としています。また、中央には多目的室2と生活科室を設け、北側には特別支援教室、図工教室を設けるといった配置計画となっております。

続いて3階でございます。基本的には2階と同様に、南側3クラスを1つとした普通教室、オープンスペースをまとめて南側に配置しておりまして、中央には図書室と多目的室3、こちらを設けます。図書室には独立階段を設けまして、4階へのアクセスが可能となっております。また、北側には特別教室である音楽室、外国語教室、多目的教室、家庭科室を、まとめて配置する計画となっております。

続きまして、4階でございます。2・3階と同様に、南側に3クラスを1つとした教室をまとめております。また、中央には理科室と多目的室4を設けまして、また、図書室の階段からつながる閲覧学習室を設けてまいります。理科室からは北側の理科テラスへアクセスしやすい配置計画としております。西側のアリーナの上部にはプールを設けてまいります。プール周囲には目隠しパネルを設けまして、敷地周辺からの視線に配慮いたします。

最後に屋上平面図でございますが、主に設備機器の置き場として利用します。設備機器周辺にも目隠し壁を設けまして、建物の美観に配慮していきたいというふうに考えております。また、屋上緑化を施す計画としてまいります。

最後に、完成予想図でございます。北側からの鳥瞰としまして①北側道路からのアイレベル、②としては北西側からの北側広場への出入り口部、③としましては北東角からの北側広場への出入り口部、それぞれの視点から完成予想図となっております。

私のほうからの若葉台小学校の説明を終わります。

○堀会長　　ありがとうございました。

それでは……

○後藤景観係長　　もうちょっとあります。

○堀会長　　まだあるのね。はい、じゃ。

○武藤都市計画課長　　照明を消させていただきます。前のスクリーンをごらんください。

○奥澤氏　　市から設計委託を受けている豊建築事務所、奥澤です。よろしく申し上げます。

これは北側の様子なんですけれども、北側の部分はCGをつくってききましたので見ていただきたいと思います。

まず北側の道路から入りまして、東側をぐるっと回ったような動きで見ていただきたいと思います。

これが北側の道路からアプローチして北側の建物が見えてきます。先ほどお話がありましたこの2階と3階が、子供たちの展示するようなものが置けるような形にして、学校の雰囲気がまちなに見えてくるような形をつくりたいと考えております。

ここの部分のちらっと見えるところが多目的室になっていまして、階段教室みたいな形で、学校だったり地域だったりが見えるような学習の空間が用意されております。

真正面が、このまま子供たちは半分ぐらいが北側から登校してくるんですけれども、真正面に昇降口がありまして、昇降口に向かって2つの横断歩道からアプローチするというような形になっております。

真正面に2本のカツラの木でシンボルツリーみたいな形を計画しております。

左側は東側を向いています。逆に反対側の西側を向いた形がこういう形になっております。

まず東側のほうに移動します。ここに立派な桜の木、ソメイヨシノが3本ありました。

その3本の桜が寿命が来ていますので、エドヒガンザクラという桜を3本、この1、2、3本、計画しております。

こちら側が東側からアプローチしてくる子供たちが、約半分ぐらいの児童がアプローチしてくる予定になっております。

こちら側から子供たちは敷地の中に入っていくと、この辺は花壇等を設けて、そういう中を子供たちが楽しく登校できるような仕掛けを考えております。

中に入ると先ほどの桜に沿ってベンチが用意されていまして、植栽帯と一体的なベンチが用意されています。

そのまま進んでいきます。左側が昇降口になっておりまして、ここの部分が広場になっております。建物と緑の植栽で囲まれた安全な子供が集合したりとか遠足前に集合したりするような広場、災害時のたまりの空間ということで広場を設けております。広場に面したところにもベンチがあって、広場が見渡せるようなベンチも用意されています。

左側、ここが地域の方に使っていただく予定のコミュニティールームというのがあります。そのコミュニティールームのこちら側に学校の掲示等を行えるような空間がありますので、その前にベンチを配置しております。

先ほど右側にカツラの木2本ありますけれども、こちら側のアールになって学校に誘い込むような木の形状のところに関しては、花が咲く木を植えたいと考えております。例えば立川市の木であるコブシの木であったり、幾つか候補として挙がっているんですけども、花が咲く木を植えていきたいと考えております。

先ほどちらっとお話しした多目的室が、こんなような形で見えてくる。これは階段教室みたいな形になっていきますけれども、この階段が壁に収納できて、多目的な小さな体育館みたいなこともできる広い空間を用意しております。

西側の奥に駐車場、車椅子の駐車場とその奥に3台、合計4台の車がとめられるような形で、この辺歩道がちょっと狭いので、一部歩道を広げたような形で考えております。

これが西側の角から学校を振り返ったような形になっています。一番手前が一番大きいボリュームの体育館、その奥が先ほどご説明した多目的室、その奥が1階が管理諸室が入る建物の構成になっております。

CGについては以上になります。

○堀会長　それでは、ご意見につきましては後ほどお聞きいたしますので、この場ではまずご質問に限定していただきたいと思います。

それでは、今の事前協議案件につきまして届出者に対してご質問がある委員の方は、挙手をお願いいたします。いかがでしょうか。

じゃ、考えていてください。

今の最後に見せていただいたCGの視点、少し高いかなと思ったんです。何度か子供が、街路を歩いてくる自転車とか歩行者と交差しないようにというなお話があったので、子供の視点で見せていただくとリアルにわかったんですけども、かなり高かったですよね。どのぐらいですか。

○奥澤氏 高さですか。

○堀会長 かなり高いから2メートルかもうちょっとあったかなと。

○奥澤氏 そう、もうちょっとですね。

○堀会長 実際には子供の視点というと1メートルぐらいだから、半分かひよっとするともうちょっと下かもしれないですね。

○奥澤氏 そうですね。

○堀会長 じゃ、お願いいたします。

○宗像委員 コンセプトのところに、また明日来たくなる学校づくりということですが、この地域といろいろ密着したというようなこと、地域に広がるデザインを目指すというようなことを書いてありますが、ここの記憶に残る学校づくりとか書いてありますけれども、学校は子供が中心ですので、子供の目線に立った工夫というのはどんなところをされているかなと思って、ちょっと疑問に思いました。

子供は小学校の場合は年齢層が6学年にわたりますので1年生から6年生までいます。ですので、そういう子供たちの体、もちろんそういう体の面、それから心の面、それから動きの面と、いろいろな目線が違いますので、それから感覚も気づきとももちろんそういうものもありますので、私はここに、既存の学校にはいろいろ玄関周辺はいろいろ信号が校門の本当に近くにあつてとか、安全面とかいろいろ問題あったと思うんですけども、既存にはここの広場のところに当たるところに池などもありまして、とても子供たちが喜んでいたように思うんですが、それが今回なくなりました。植木で花壇にしてというようなことになりましたが、子供の目線でどんな工夫されたかを聞いて、後で見聞を述べたいと思います。

○庄司教育総務課長 では、私のほうから説明させていただきます。

まず、明日また行きたくなる楽しい学校づくりという部分でございますが、マスター

プランのところでは、主に校舎内を想定しているところでございます。居心地のよい生活空間を整備するという中では、当然明るさとか木質化とかそういったところの部分で温かみのある空間づくり、子供たちが勉強しやすいあるいは生活しやすいというところでございます。

これはこちらのマターになるかどうかわかりませんが、校舎の中には子供たちの荷物を、ランドセルとかバッグとかさまざま今子供は持って行きます。そういう荷物を教室の中におさめるのではなくて、教室の外にそういった空間を設けて教室を広く使えるような形、あと資料の中で補足をさせていただきますと、10ページをごらんいただければよろしいのかなと思うんですが、10ページにオープンスペースというのをかなり用意してございます。オープンスペースのところ少し教室の右側あるいは左側上方に、ちょっと出っ張っているスペースがございまして、こちらパオといまして、ちょっとした小上がりの空間になってございます。こういったところを設けることによって、ちょっと課題のある子供たちとか、あるいはちょっとした休みに読書をしたりとか、そういった空間をつくって勉強に親しめる、新しい学習指導要領も今度一部実施になりますので、そういったところを子供たちが取りかかりとしてできるような、校舎内にはいろいろちりばめているところでございます。

では、じゃ、北側の広場にどうなのかというところでございますけれども、地域の方が本当に連携ができるようなベンチであったりとか、あるいはコミュニティールームとの動線の確保であるとか、そういったところで子供たちと地域の方が楽しく集える場所、あるいは子供たちが本当に楽しく勉強ができる、そういったところの仕掛けはしているところでございます。すみません、説明になっているかどうかわかりませんが、そういったような形の空間は、さまざま教室内外ともに考えているところでございます。

以上でございます。

○堀会長　　よろしいですか。

では、ほかにいかがでしょうか。

○庄司教育総務課長　　池ですね。池のことで確かに今、けやき台小学校の入り口のところに池がございまして魚とかですね。けやき台小学校はきこえとことばの教室というのが長年ありまして、そこの子供が、私も行って、池をじっと眺めていて、その子供たちにとってはすごくいいというところがあるんですが、池のかわりに南側にビオトープというのを設ける予定でございます。5ページの図面をごらんください。校舎南側、ウサ

ギの耳の形をしているようなところがありますが、左側にビオトープとございます。位置は変わりますけれども、子供たちからすれば、校庭で昼休みとかの中でそういった池のかわりということではないですけれども、そういった代わるものを設えているところは考えているところでございます。ただ、池もなかなか管理が難しく、最近は特別支援の関係で子供が池に入ってしまうとか、さまざまそういった事例も今出てきているところもございますので、管理をしっかりしていかなきゃいけないかなというふうには考えているところでございます。

すみません、以上でございます。

○堀会長　よろしいでしょうか。

ほかにいかがでしょうか。

お願いします。

○杉山委員　北側からの視点ということでいろいろ見せていただきました。教えてほしいというか質問としては、先ほど北側からは半分割と通学してくるといって、あとどこから入ってどう動くのかなというようなことを教えていただきたいんです。動線という意味で、駐車場は一番南にある駐車場から歩いて行くんですかね。どう歩いていくのかなとか、南側からの視点とか。東側は、以前より何だか直線が長くなってしまって、前のほうは植栽がリズムカルだったんでしょうか、少し歩きの動きに即したような雰囲気があったりしたんですけれども。今回こちら側の視点については、ここは景観という検討委員会なので、こういうこの辺の見え方というのをおつくりになっていない理由というか、教えてほしいということが基本なんです。どんな感じに見えてきたりとか、今日のお答えとしては、どんな工夫をなさったよというようなことを教えていただければいいのかなと思います。

屋外倉庫の脇はすごく密集して木を植えられるんでしょうか。こういったところの目的だとか、あとこのグラウンドはどういう仕上げになってくるのかとか、すごいゴムを敷くのか、小学校、小さなところだと芝生を植えたいと言うところもあったりするわけですが、そういう仕上げじゃないようなんですけれども、どういうふうに見えてくるのかなであるとか。最近、よく小学校は、テントを張って運動会を見る父兄というのが話題になっていたりするんですけれども、こういうグラウンドの使い方みたいなものが、周りから楽しく見えるのかな、どうなのかなというその辺の視点から教えてください。北側からしか、ほぼ建物のお話だけになっているので、そのあたりを教えていただきたいな

というのが大きく1つです。それは動線を含めてという意味です。

それともう一つ、メッシュフェンスがずっと回るみたいなんですけれども、そういったようなものの色とか形状とかは、もう検討なさっているのでしょうか。

ちょっとだらだらした質問で恐縮です。

○堀会長 最初の質問は、まず駐車場との関係ですか。

○杉山委員 そう、駐車場からどうやって行くのかという。

○堀会長 それから南側の植栽の考え方ですか。

○杉山委員 そうですね。

○堀会長 それからグラウンドの仕上げ並びに使い方。

○杉山委員 はい。

○堀会長 それから東側の周辺植栽の話もありましたか。

○杉山委員 そうですね。

○堀会長 それから最後は何でしたっけ。

○杉山委員 最後はメッシュフェンスみたいなものが書かれているんですけども、そことか。

○堀会長 メッシュフェンスね。

以上、ご質問です。

○杉山委員 はい、よろしくお願いします。

○庄司教育総務課長 よろしいでしょうか。順次お答えさせていただきます。

最初に、登校する児童が半分ぐらいという話がありましたが、これはこの図面で言うと右側から、東から来る児童は半分ぐらいでございますが、そのほかに北側ですね。今の若葉台小学校、旧の若葉小から来る方も半分ぐらいいます。左側、西側から来る児童はほとんどいらないというところがございます。その子たちが昇降口の北側から一斉に登校しますので滞留するために、今回、滞留しないように広く設けております。あるいは通勤・通学の地域の方がいますので、そこは広めに設けたということが1つでございます。

駐車場の考え方でございますが、基本、学校はよほど用がない限り駐車場は設けることはしてございません。ただ、業者が納入したりあるいは来客が来ることがあるので、最低限基本は駐車場4台、北側にある部分で足りることが多いのですが、そうではなくてどこに設けるかといったときに、南側に10台を設けさせていただきました。これは例

えば学校以外の校庭利用ですね。土曜日、日曜日とかで使う場合の来客のために設けさせていただいたところでございます。

では、駐車場からのアクセスはどうかといいますと、これは校舎内を通るのではなくて校舎外からアクセスしていただきます。ここはいろいろ議論があったところではあるのですが、ご不便をおかけして申しわけないところはあるのですが、基本、学校との調整の中では北側にある4台で通常は賄えるということの判断により、こうした内容、校庭の中を通っていきますと、安全面とかその辺の部分、児童の安全面とかを考慮した段階ではなかなか難しだろうということで、駐車場は今10台ありますが、ここは旧のけやき台学童保育所が建っているところでございます。そこを解体して駐車場を設けるという形でございます。そういったところでございます。

あと南側の樹木でございますが、これは既存でこれだけの樹木が植えられているような状況でございます。そういったところでございますので、これだけの右側に既存樹木一覧と、細かく読みにくいとは思いますが、ケヤキからずらっとございます。そういったような形で今ある樹木をここに落とし込んでいるということですが、やっていく中でこれは残せるもの、残せないもの、老木になっているもの、あるいは景観上どうなのかというところの部分のご意見を踏まえながら、あと実態を踏まえてそこは考えていきたいというところでございます。

あとグラウンドでございますが、基本はこのページの左側に「校庭 ブラウンコート舗装」というのが書いてございます。舗装と書いてありますが、基本は土の舗装になります。いわゆる一般的な校庭の、立川市内に芝生は一部ございますけれども、あとはいわゆる全天候型の例えば人工芝であるとか、そういう校庭はございません。土に親しんでもらうということでございますので、いわゆるほかの学校と同様な水はけのよい舗装というか土で校庭をつくってまいります。緑で示したところ、プレイコートであるとかビオトープとか、あと北側にも一部学級菜園もございますが、その南側あたりには芝生を一部設けてまいります。

あとグラウンドの使い方でございますけれども、これは基本はもちろん授業で使うことはありますが、地域の方が使うことは当然想定してございます。地域利用ということで地域の運動会や地域の防災訓練であるとか、あるいは生涯学習ということで言うと、地域のスポーツ団体の方が使っていただくということは、当然これは今でもどこの学校でも使っていますので、その場合は10台ある駐車場のほうから鍵を開けて入っていただ

く、その鍵を受け取るには受け付けを北側でしていただく必要はあるのですが、それが終わった後は、その方の責任により南側の10台の駐車場のほうから入り口を設けて入っていただくということです。トイレもこの南側のトイレを使っただきますので、そういうことでセキュリティーはしっかり学校の中では考えているところでございます。

最後にいただいたご質問の中で、メッシュのフェンスということのご質問のご趣旨がすみません……

○杉山委員　　どんな色とか形状とか高さとかのものですかという。

○庄司教育総務課長　　そういうことでございますね。1.6メートルぐらいの高さで、外観を損なわないような調和したようなフェンスということで、今のところ考えているところでございます。今は図面上読み取れないところでございますが、十分景観に配慮したものを考えているところでございます。

○杉山委員　　あと東側の植栽が非常に単調な感じが、ここだけ急に単調かなと。

○庄司教育総務課長　　ずっと東側ですよ。今これは桜並木にずっとなっているところでございますが、実はもう60年たっていてかなり老木となっています。枝も実は結構落ちてきているような、一部落ちてきている状況で、学校の用務員がかなり心配をしているところでございますが、基本は先ほどの説明があったとおり若い桜の木、ちょっと種類を変えてということでございます。基本、桜並木というものは、こういう形で1列に並べて育ったときに、多分一番きれいな形かなというふうに考えているところでございますので、既存のものと同じような植え方を私どものほうとしては今考えているところでございます。

○杉山委員　　図面がここが削れているんですけども、桜並木になってくるよということですか。

○庄司教育総務課長　　そうですね。東側は桜並木になります。

○宗像委員　　今の動線のことでお聞きしたいんですけども、よろしいですか。

○堀会長　　はい。

○宗像委員　　黒三角が入り口なんですよね、この図面で。東側、北側の入り口前に校舎の横に、それから駐車場のところ、それから南側のビオトープとかに入るところ、それから西側の学童のほうかな、それからあと北西のところとあるんですけども、基本的に北側が子供たちの動きがほとんどということなんですけども、防災上というか避難関係では、この小さい基本は北口ですけども、学校なんかは人数が多いので、基本的に2カ

所大きな出入りが設けてあるのが基本だと思うんですが、防災上のそういう配慮というかは、こういう小さい出口でいざとなったときに大丈夫なんでしょうか。

○庄司教育総務課長　　まず子供から見た考え方と地域から見た考え方と、若干考え方が違うかなと思うんですけれども、まず体育館、地域の方から見た場合は体育館が一時避難所になります。実は体育館の隣に防災備蓄倉庫というのがちょっと出っ張っているところがございます。こちらに皆さん地域の方が避難してまいりますので、このときは1カ所ということではなくて、これは開放せざるを得ないかなと思っているところがございます。地域の方1,000人とかそういう収容能力がございますので、お越しいただくような形になります。そういった形で基本、門はあけるような形になろうかなというふうに考えているところがございます。

では、子供たちが授業があったときにどうなのかというところがございますけれども、一旦は大きな震災でない限りは基本は入り口1カ所プラス、そこは学校との調整がありますので、これだけの出入りがございますので、保護者の方がお迎えになるとかとういったところでは、一度に500人ぐらいの引き取りというんですかね、来た場合には、多少そこは融通をきかせていきたいなというところがございます。と言いながらも、緊急時に子供たちが行方不明になるということはまずいので、幾つかの例えば2カ所ほどとか2カ所、3カ所、先生方がしっかり目が行き届くような形での開放という形をしていきたいなというふうに考えてございます。ここはあくまでも運用面ということになります。

○宗像委員　　職員室の隣の三角のところは自転車とかもここに入るんですか。上がってくるんですか。

○庄司教育総務課長　　職員室の右隣のところですかね。

○宗像委員　　はい、東側の。

○庄司教育総務課長　　これは駐輪場。

○宗像委員　　駐輪場用の出入り口。

○庄司教育総務課長　　駐輪場の出入り口は北側からしか入れません、基本的には。

○宗像委員　　ここは、じゃ……

○庄司教育総務課長　　北側から入って北側から出るという形ですね。40台。

○宗像委員　　ここにも出入り口、これは通常は使わないけれども、出入り口になっているわけですね。

○庄司教育総務課長 駐輪場のところの部分は、少し自転車が何台か、2台分ぐらいですか、通れるような門というか開口部はあるということでございます。

○酒井委員 先ほど話が出まして、南側の駐車場の横に「みんなの森」というのがありますけれども、これは具体的な説明が何も無いのですが、フェンスの外になりますよね。これはどういうものなんでしょうか。何かこの部分には、サツキツツジがちょこっと植えてあるぐらいで、こちら側にはたくさん樹木があるようですけども、何かご説明いただけますでしょうか。

○庄司教育総務課長 本当にご指摘のとおりでございます。説明がなかったということで申しわけございません。

「みんなの森」というのは、子供たちに植えてもらおうというコンセプトがございます。マスタープランの中に実は書いているところでございますが、ドンダリの木、ドンダリを記念樹ではないんですけども、そこに入った児童、初めての子供たちに、ドンダリから栽培してもらって森をつくってもらおうという、そういうコンセプトのもとにスペースを設けてございます。どのような形に木が生えるかというところは落とせない部分ではあるんですが、そういうコンセプトがマスタープランの中にございまして、それを具現化した形で今回設計の中に入れ込んでいるところでございます。

○宗像委員 フェンス外ですよ。

○庄司教育総務課長 フェンス外でございます。

○宗像委員 「みんなの森」といっても駐車場と隣接している場所というのがあるので、もし子供たちにそういうふうに植えてもらおうというのであれば、隣にたくさん植栽があるところと合わせてフェンス内のほうがよろしいのではないかなとは思いますが。

○庄司教育総務課長 そうですね。実はここなんですけれども、地域の方にも見ていただくという考えがございまして、敷地の中に設けてしまうと、ドンダリを子供たちが植えた木なので、子供たちは植えるだけで基本的には、管理も一緒にやってもらうことはありますが、基本は地域の方にも見ていただくというコンセプトでございまして、今のところ外しているところでございます。

○酒井委員 そうですか。駐車場と隣接している。ドンダリとかとなると子供たちも捨ったりと、そういうことも結構楽しみにすると思うんです。そこでこの駐車場と一緒に場所というのは、何か安全面でもどうかなと思うので、どちらかという地域の人よりも子供たちの安全を優先すべきではないかなと私は思うので、ここはフェンス内のほう

がよろしいのではないかなと思います。

○庄司教育総務課長　今いただいたご意見を踏まえて内部で検討していきたいと思いません。

○酒井委員　あともう一点、東側にヤマザクラが、わーっと植わっていますけれども、ヤマザクラは多分葉っぱと花が同時に咲くので、いわゆる小学校のピンクの桜というイメージとはちょっと物足りなさが、ヤマザクラ自体はいいあれですけれども、ちょっとそういう意味では、もう少し花だけ咲くというほうがよろしいのではないかと思うんですけども、どうしてヤマザクラになったのでしょうか。

○庄司教育総務課長　ソメイヨシノという桜は、すごく一時期にきれいに、ばーっと咲いて、日本の春を感じる桜であって、まさに入学式、卒業式にふさわしいというのはあるんですが、私どもとしては長く咲く木、長い寿命を持つ木を植えたいということでございます。ヤマザクラというのは日本の中でも昔からある桜ですので、そういった考えのもとに今回考えているところでございます。なかなか管理上難しいところがありまして、なかなかご意見が分かれるところではあるんですが、一旦は今回の統合の説明会の中の後半でも、そういった説明をさせていただいたところはございます。

○宗像委員　それに関連していいですか。

それで先ほどどこかに、東京都と立川市の植栽のあれに沿って植栽を計画したと書いてあるんですが、本数がさっき杉山先生も、1列で余りにも桜通りみたいな感じになっていると思うんですけども、きのうも一小とか見ましたけれども、みんな枝が切られて余り大きくならないようにならないようにされているんです。なので本数、計画でこれだけ植えなくちゃいけないというのは確かにあるんでしょうけれども、桜の木は伸びも速いし大きくなるのである程度大きくなって、学校は歴史とともに桜、今の地域の今のけやき台の桜も、学校ができたときに地域の方が植えてくださったという歴史がありますので、そういうところで地域との結びつきというのは縁があるわけで、これからやるとしても、ある程度大きくなったらまた邪魔だからとか、葉っぱが落ちる、何が落ちるとかで切られていったら、桜本来の姿がなかなか学校というところに根づかなくなってくるように思うんです。なので、こんなに本数、大きくなったことを考えて本数なども設定していただきたいしというのがあります。

それから余りにも先ほど温かみのある、校舎の中は温かみのあるというふうなお話がありましたけれども、外側も多少子供に温かみのあるそういう設計というかあり方が必

要だと思うんで、杉山先生と私は同意見なんで、何となくみんな四角っぽくて直線的で角張ってというのを、すごくこの図面を見たときに感じたんです。建物そのものはどうしても四角っぽくなるので、外構とか校舎以外のところは、もうちょっと丸みとか遊びとかがあってもいいんじゃないかというふうに思いまして、植栽も余り1列じゃなくて多少でこぼこが、校庭の面積に余裕があったらそういうでこぼこがあったり日陰がとれるような工夫とか、そういう工夫は考えなかったのでしょうか。

○庄司教育総務課長 お答えさせていただきます。

確かに建物は角張っているという言い方は変ですけども、正型のほうが管理上もいいというか、維持もしやすいというのがありまして、建物については本当に委員がご指摘のとおり、そのとおりでいっているところでございます。

そのほかの部分で例えば植栽であるとかベンチであるとか、そこは附属物でございますので、やわらかな雰囲気を醸し出すためには丸みを帯びたものというのは、今からでもそれは可能でございます。そういったものを考えていきたいと思います。色合いとかあとは運用になりますが、掲示物であるとか、そういった設え以外の部分でもやわらかい雰囲気というのは、学校と考えていきたいと思いますので、今いただいたご意見を踏まえて、できるものは取り組んでいきたいというふうに考えているところでございます。ありがとうございます。

○堀会長 じゃ、私からも質問でよろしいでしょうか。

今の皆さんの話と関係するんですけども、まず周辺を回っているメッシュフェンスですけども、もう少し構造を教えてくださいませんか。というのは、腰壁が入ってその上にメッシュフェンスなのか、グラウンドレベルからメッシュフェンスなのか、つまりこの計画を見ると植栽はフェンスの内側ですよ。基本ね。そうすると腰壁が入ると、例えばサツキを、ずっと周囲全部植え潰しでかなりのボリューム入れるんですけども、腰壁が入ると外からは見えないですよ。でも、下からメッシュフェンスだったら全部見えますよね。だから外からの見えを意識しているのかどうか。もしも腰壁が入るんだったら植栽は、低木は外から見えないわけだから高木、中高木を見せようという発想になるのか、そういうのに全部関係するんで、まずメッシュフェンスの構造をもう少し教えてくださいませんか。

というのは、じゃ、続けて聞くと、14ページに鳥瞰パースがあって、この上の図の一番左のところに、実はメッシュフェンスの構造が少し見えているんですよ。この構造

を見ると、腰壁のコンクリートの壁の上にメッシュフェンスがあるかのように見えていますよね。これがぐるっと回るのかなと、ちょっと思ったんで確認です。

○庄司教育総務課長 設計業者のほうから説明させていただきます。

○奥澤氏 多少の擁壁、100、200、300ぐらいの立ち上がりは考えているんですが、その上はフェンスという形で、低木も見えるようなフェンスで考えております。

○堀会長 300ぐらい。

○奥澤氏 はい。

○堀会長 じゃ、そうするとこの部分は、むしろちょっと例外的なんですね、今ここで見えているのは。

○奥澤氏 そうです。

○堀会長 ここだけ例外的なんだ。

○奥澤氏 はい。

○堀会長 そうすると、割と中の植栽が見えるような構造なんですね。

○奥澤氏 はい。

○堀会長 じゃ、ぜひとも外からの見え、植栽、それからもちろん中からグラウンドのほうからも見えるんで、両方の見えを意識して少し考えていただきたい。これは質問じゃないか。質問的にはそういうことを意識されているんでしょうかねということですよ。

○奥澤氏 既存が結構擁壁が立ち上がって中が見えないような圧迫感があるので、そこは改善していきたいなというふうに考えています。

○堀会長 結構だと思いますけどね。

それと今、植栽に皆さんご関心が大きかったので、5ページですか、これに植栽計画が入っていて既存樹木を見ると、非常におもしろいことに学校の木ならではのですね。ユズとかカリンとかキンカンとか柿、ザクロ、ウンシュウミカン、いろいろな実がなることによって子供たちに、果物屋では見たことがあるかもしれないけれども、実際になっているのは見たことがないんで見せると、こういう発想は学校ならではのと思うんです。ところが、新設の樹木のほうを見ると割とそういう考え方がなくなってというか、なくて、花を見せようと、それはそれでいいんだけど、学校の木というようなことを考えるともう少しいろいろあり得るのかな、可能性として、その辺いかがお考えですか。

○庄司教育総務課長 今、会長がおっしゃられたような木は、はっきりとはわかりませ

んが、多分記念樹であるとか卒業生とかが多分植えられたのかなと、当初から計画したものではないというふうに考えているんです。実際、第一小学校でも26年度に建てた学校でも、そういったものは余り聞いたことはございません。ただ、実際にその木が今実になっているかどうかというところは、実は私も余り意識したことがございませんので、余りそういったものは実はないのかなというふうに思ったところでございますが、これからの子供たちがそういったものをつくっていくということもよろしいかと思えますし、あるいは残せるものについては残していきたいというふうに考えているところでございます。今のご意見をいただいてそういうふう感じたところでございます。

○堀会長　それからヤマザクラの話がありました。特に東側のこれは植栽帯が大体3メートルですよ、ここずっと。3メートルのところに桜を入れて特に心配するのは、道路側に枝が張ると切られるだろうと、「桜切るばか」と昔から、桜は切っちゃいけないですよ。北側のところのエドヒガンは、これは切られる心配はないと思います、中に生えているから。でも、この東側は道路に完全に接していて3メートルしかないので、恐らく大分枝が出てしまって切られるかなと、そうすると本当にここはヤマザクラなんだろうかなというの、ちょっと私も気になります。

それから桜でヤマザクラとエドヒガンとシダレと入れていて、エドヒガンは葉っぱよりも花が先に出てものすごくきれいで、しかも樹齢が1,000年ですよ。ヤマザクラをメインに据えるのが本当にいいのかどうかというのは、私は少し疑問なんですけど、いかな、やっぱりどうしてヤマザクラなのかなというのは気になるところです。質問です。どうしてヤマザクラなんですかと。

○古川委員　それにちょっと乗っかってあれなんですけど、ポイントとしてオオシマザクラとかそれからウコンザクラとかというのは、ポイントでちょっと幾つか色合いを変えて考えられたらということは検討されたのかどうかという質問です。

○堀会長　桜は物すごくいろいろありますんでね。

○杉山委員　今年は東京はカワヅザクラがかなりふえたみたいで、でも、季節が似ていますでしょう。

○堀会長　カワヅザクラもソメイヨシノと同じで、あれはクローンなんで接ぎ木でふやすやつなんで、寿命が短いです。だから学校の木だと寿命の長い木かなというふうにまづ思いますよね。

○杉山委員　でも、ちょっとすみません、桜の寿命は、うちはたまたまマンションにヤ

ヤマザクラがあるんですけども、35年たつんですけども、ちょっと枝が手入れが悪かったんで落ちそうで、今どうしようかなとなっているんです。だからヤマザクラも本当に寿命はどうなんですか。

○堀会長 問題が全然違うんですよ。接ぎ木というのは台木が腐るんで60年が限界なんです。そのヤマザクラは個体が弱かったんだと思います。要するにソメイヨシノ、カワヅザクラは品種ですよ。あれは接ぎ木で、要するに杉山さんがずっといるようなものですよ。ここはみんな違うじゃないですか。これがヤマザクラであったりエドヒガンであったり、普通の桜の状況なんです。ソメイヨシノとかカワヅザクラというのはある人のやるんで同じ人だから、意味合いが全然違う。

○杉山委員 あー、じゃ、ヤマザクラはちょっと失敗したなということ。

○堀会長 そうですね。それはその個体が弱かった、それだけのことです。

すみません、話をもとに戻して、なぜヤマザクラなのかなということと……あつ、桜の話？

○加藤委員 会長と古川委員のご意見に乗ってしまって、こちらのところは砂川地区にありますから、特に景観としてこれをというのはいないんだと思うんですけども、たまたま、若葉小学校と合併されているという間には五日市街道もあるし、上水道も学区の北のところにあります。武蔵野の景観といいますか、そういうものに配慮したような木はご検討にならなかったのかどうかということ。それと、私もヤマザクラは大好きなんです、個人的には。ただ、ここにすごく景観が変わりますよね。ソメイヨシノだった、ソメイヨシノのざーっと並んでいたところにヤマザクラを植える。それは景観審議会というよりは、私も地域の方々のお気持ちで、桜というのにこだわられるのはとてもよいことだと、皆さんが桜のほうがいいというご発想であればいいと思うんですが、全く変わってしまうということは多分皆さんおわかりになっていることだと思うので、ヤマザクラだけでなく違う樹種も含めてご検討されたのか。その意味で今回小学校2校が合併されていることとか、そういう今のまさに今160センチだと子供たちは誰も見えない。大きな子がたまたま目で見えるかどうかというフェンスのところで囲われていて、せつかくのこのすてきな実がなる木が本当にたくさん私もあるなと思っていまして、梅の木だったりカリンとかそういうものが、外の、ここは子供が歩かない、あるいは国分寺市のほうだということもあるのかもしれないんですけども、こちらの西側の下のほう、南西方向は違うかと思うんですが、安全面に配慮することとの兼ね合いもあるんでしょ

うけれども、外壁のほうは、外壁というかフェンスの高さ、それから見え方、それと植栽との関係は、もう少しご考慮いただけるようなことを希望します。既にご検討されたことがあって落ちていったものかどうかということ、ご質問という形でさせていただけたらと思います。

○庄司教育総務課長 よろしいでしょうか。

○堀会長 はい。

○庄司教育総務課長 皆様からの総合的な意見を総括する形になってしまうんですが、まず地域の方からの要望は依然として桜、ソメイヨシノであることは間違いございません。今ある木を残せないかというご意見が一番でした。ただ、それについては最初の段階で老木になっている、非常に児童に危険がある、周辺の方が危険な目に遭ってはいけないということで、それは切らせていただく方向でということで、説明の中ではそういう説明はご理解いただけたのかなと思っています。では、代わりに何を植えるのかというところの部分は、今ご説明したような3種類の木を植えるような話でということまでは、説明はさせていただいているところです。

今、ご意見いただいた部分を踏まえて、また実は説明会を予定してございます。地域の方の意見、あるいはもちろん今いただいた意見を踏まえて植栽を何にしていくか、今までは景観が変わってしまうというところは間違いございませんので、ただ、ヤマザクラ、エドヒガン、シダレザクラでも若干開花の時期が違うようでして、常に花を咲かせることはできるのかな、春の時期に少しずつ違うという、そういった効果もあるかなというふうに考えるところでございますので、必ずしもこれで、計画でこれだということのお示しではございませんので、今いただいたご意見等を踏まえて、植栽のほうは一番というか、ご意見いただくところでもございますので、そこは今後検討していきたいなというところでございます。ありがとうございます。

○宗像委員 ちょっと私の経験で、桜といいますのは、ソメイヨシノは毛虫が落ちるんですね。梅雨の時期にそれも大きい毛虫がいっぱい、どうしても消毒などしても発生しやすくているので、すごくきれいな反面そういうところで問題が生じる時期があるんですが、そういうことを考えれば、北側の玄関のところベンチがあるところに、ヤマザクラは私も今まで経験がないので、毛虫が発生するかどうかはちょっと、それがずっと心配でした。だからさっき会長さんがおっしゃったように、何も広場のこういうところを桜に固執しなくて、実のなるコナラとかそんなのだったらとてもいいんじゃないかな

んで思ったりしているんです。とにかく結構、毛虫対策というのは毎年大変な部分があると思うので気になっていました。

以上です。

○山口委員 景観に関係ないことで質問なんですけれども、セキュリティー対策についてお聞きしたい。校舎側は開放的で非常にいい感じで、グラウンドについてはフェンスがあってということでもいいと思いますけれども、今こういう施設について監視カメラとかそういうのをずっと張りめぐらすとか、そういうようなことになるのでしょうかというのが1点と、あと運動会などをやるときに父兄などが、自転車でたくさん来て、いまの台数で足りないときには、この前の広場に臨時的に置くことになるのでしょうか。この2点ですけれども。

○庄司教育総務課長 お答えさせていただきます。

まずカメラでございますが、今、立川市の学校、主に校門のところに向けて4台配置してございます。ですので、同様な台数という形で考えているところでございます。正面玄関であったりとか南側であったりとか、配置はこれから検討してまいりますけれども、4台程度カメラを配置して、モニターも事務室のところにも置くような形になろうかと思えます。平成12年ですか、13年ぐらいに、神戸で大きな事件がありました。あれを契機にほかの学校でも入れているところでございます。

あともう一つが自転車ですね。広場に置かせていただきます。今、第一小学校でも同じような形であいているスペースに、かなりの父兄の方が来られますので、そこに整列するような形で白線を引いて、ここにとめてくださいというような整理をしていきたいと考えています。

○堀会長 ほかにいかがですか。

じゃ、私からまた。14ページを見ていただきたいんですが、先ほど言ったフェンスが回ってきて、ここの部分だけ東側、壁がありますよね。特に一番右下の図です。③北側広場への出入り口部を見ると壁がありますよね。この壁は必要なんですか。非常にかたくて、入るときにこの壁があるとせつかくのツツジも見えないし、植栽も見えないので、これだけの高い壁が必要なのか、先ほど30センチというお話があったけれども、こっただって30センチでいいんじゃないのかなと思うんですが、何でここの壁があるのか教えてください。何か特別な理由があるのかしら。

○庄司教育総務課長 よろしいでしょうか。

これはCG処理したところの部分を一部カットした写真を、写真というか画像にしているところですが、この壁は今ご指摘のとおり取り払っていきたいというふう
に考えているところでございます。

○堀会長 了解しました。

次に、今の14ページの上の絵を見ると、広場を囲むようにカツラ2本が植わっている
植栽帯がありますよね。この植栽帯によって広場を空間的に分節して、中の自己領域化
を図ろうとしているんだと思うんですが、下の②のパスを見ると、割と今言ったカツ
ラを植えてある植栽帯が平らですよ。これ平らにするんですかね。それともちょっと
CGが間に合わなくて平らになっていて、実際にはアースワークといって少しマウンド
になって、マウンドになると自己領域、空間が切れてくるんで分節化されて広場が居心
地よくなると思うんですけども、これはこういうふうにするのか、たまたまCG上でこ
うなっているのか、そこを教えてください。

○奥澤氏 画面を見ていただくとベンチがアール状で山状になっていますけれども、そ
れに沿って芝生もちょっと盛り上げようと考えています。

○堀会長 そうするとこれは平らじゃなくてマウンドになってくるわけですね。

○奥澤氏 そうです。

○堀会長 それは隣の上の図でいくと左側、今のカツラの2本の木があるものの左側の
エドヒガンを3本植えているやつ、ここも同様でしょうか。

○奥澤氏 同じです。

○堀会長 了解しました。そうするとまだ地形のアンジュレーションとか起伏とか高さ
とか、そういうのはまだ盛り込めていなかったと。

○小林施設課長 堀先生、後ろのあれで。

○奥澤氏 多少立ち上がりが。

○堀会長 でも、余りないじゃない。ここのところ、今の説明だと、これをここまで持
ってくるって話ですね、こういうふうに。じゃないの？

○奥澤氏 そうですね。そちら側も。

○堀会長 すりつけるという話でしょう。こんな壁が出るのはみっともないよね。すり
つけないとね。まだすりついていないですよ、これ。

○奥澤氏 はい、ちょっとCGの技術がすみません。

○堀会長 了解です。そこは別に構わないですけども、確認です。明かりをつけてく

ださい。ありがとうございました。

それから、同じく今の14ページの②、下の真ん中のちょうど正面に受付ですかね、のところがあって、下にベンチみたいなのが見えていますよね。これは先ほど説明がありましたか。

○奥澤氏 すみませんでした。

○堀会長 これはベンチなのかどうか確認させてください。これは何でしょうか。

○庄司教育総務課長 左側の長いところはベンチをイメージしているところでございます。ちょっと上がっている部分は、そこが受付になりまして、荷物を置いていただいたりとかということを想定しているところでございます。

○堀会長 このベンチはいいと思います。ちょっと荷物を置いたりするのも大変便利なのでいいと思います。

○宗像委員 質問です。

北側のところの東側に花壇が1つありますが、入り口のところ、あと花壇というものが校庭側のほうには今のところ描いていないんですが、ビオトープのところの菜園というあたりが花壇、5ページです。花壇とか考えているんですね。

○庄司教育総務課長 校舎のすぐ隣接したところに花壇というか学級菜園というのを想定してございます。特別支援学級というところの部分のそばです。

○宗像委員 それは、でも、大体特別支援学級で使うとは限らないんですか。

○庄司教育総務課長 そういうことでもございません。

○宗像委員 これだけ見ると面積がそんなに広くないんじゃないかなと思っているんですけども、もし学級、それぞれの学年で使うとすれば、もっと広くないかというふうに思って、ビオトープのほうの菜園あたりにそういうのをつくられるのかなとか思っているんですが、その辺は検討していただいたほうがいいかなと思います。

○庄司教育総務課長 今、実はここの部分は、統合する前でございますけれども、マスタープランの委員会の中で両校の校長先生との中で話をしたんですが、そこまで話し切れたかどうかは議事録ははっきりわかりませんが、そういったことももう一度フィードバックして、児童数に見合う菜園であるとかそういったものがあるかどうかというのを確認して、必要であれば設けていきたいと考えています。

○宗像委員 なぜそう思ったかといいますと、さっきの温かみの中で、ほとんど土のところ为学校にないなというふうに感じたんです。土ですね。なので、さっきの入り口の

カツラの木とかそういうところも、みんな低木じゃないけれども、全部埋め尽くすようになっていて、学校で季節、今までの感覚で言いますと、4月になると子供たちが入ってくるからチューリップ植えたりとか、多少そういう学校の雰囲気を出す花壇も今まではあったんですけども、入り口の丸い花壇だと、これしかそういうものがなくて何かすごく寂しい。だったらさっきのカツラとかヤマザクラのところあたりをもうちょっと工夫して、土の面が残せないかなというふうに私思っていたんですけども、そういう考えはなかった。みんな大人の感覚で、みんなそういうところも埋めてしまうというような感覚じゃないかなと思っているんですが、いかがですか。

- 堀会長 それは質問とすると今のM、アイビーになっていますよね。
- 宗像委員 そうです。アイビー。全部植栽で埋めて。
- 堀会長 周りがね。それは何でアイビーなんですかという。
- 宗像委員 そうです、そうです。
- 酒井委員 質問で、ここのベンチのところもシンボルツリーとしてカツラとなってますけれども、なぜカツラがシンボルツリーなのか。私の気持ちとしてはケヤキかコブシだろうと思うんですけども。
- 堀会長 何でカツラなんですかと。
- 酒井委員 なぜカツラなんだろうという。
- 宗像委員 それも聞きたかった。
- 堀会長 私も聞きたい。
- 宗像委員 バリカーがあります。バリカー。
- 堀会長 植栽はわかりやすいので質問が集中していますけれども。
- 宗像委員 学校だからなおさらなんですけれども、あとこのバリカーというのも、何か非常に単純でつまらないと思うんです。
- 庄司教育総務課長 バリカー。
- 宗像委員 はい。通行どめみたいなのですよ。それがただの棒みたいなので。
- 堀会長 あー、さっきのCGのやつ。
- 宗像委員 はい。なので、また来なくなる学校とか、そういう子供たちの歴史に残る学校とかといたら、どうせ新しくつくるのですから、もうちょっと何かそこが楽しくて、子供がなでなでしたりそういうことができるとか、何か工夫があってもいいんじゃないんですか。

- 堀会長　　じゃ、まず植栽帯、地被、アイビーになっているのはどうしてというのと。
- 庄司教育総務課長　　植栽につきましては、まずカツラの木ということでありましたけれども、本来は確かにケヤキとかコブシだとかというのはあるんですが、大きくなり過ぎてしまう、入り口のところの部分で言うと大きくなり過ぎてしまう、後々視界がなかなか難しくなってくるところがありまして、バランスを考えて適度に中木ぐらいで緑が映える木で、今のところそういうことを計画しているところでございます。
- 堀会長　　カツラは大きくなりますよ。条件次第ですけども、ケヤキより大きくなります、カツラは。有名な巨大なカツラがたくさんあります。
- 杉山委員　　そうです。30メートルですよ。
- 堀会長　　カツラは大きくなりますよ。
- 庄司教育総務課長　　そこは木の指定についてはこれで確定ではございませんので、今いただいているご意見を踏まえて考えていきたいと思っております。
- 土の部分がということの部分でございますが、これにつきましても確かに今、土の校庭の砂あるいは芝生、あるいは一部ございますけれども、土の部分については、もう一度今度の校長と調整して、必要であるのかどうかを踏まえて今いただいたご意見を返して、また設計に必要であれば反映していきたいと思っております。
- 堀会長　　それから車どめが、あれはどういう考え方でこれになっているのかというご質問でした。
- 庄司教育総務課長　　車どめにつきましては、現状、今のけやき台小学校は、ちょうどこの車どめのところが入り口なんです。車が突っ込んでくるというところが一番怖いというところがございまして、車は通れませんよというところの部分で、今暫定的にこのような車どめをしてございます。ただ、この車どめはいかようにもできますので、そこはデザイン等を考えながら。
- 堀会長　　そうですね。ぜひお願いします。いろいろなデザインがあると。
- 萬田委員　　よろしいでしょうか。
- 堀会長　　お願いします。
- 萬田委員　　6ページの先ほどもお話がございましたけれども、植栽帯ですね。植栽帯のところのベンチがございましてけれども、これについてはモザイクタイル張りとありますけれども、この部分は平らになるのでしょうか。それを聞きたいと思っております。
- それともう一つは、アイビーを植えるということで土の状態があるわけですから、こ

のベンチのレベルにしちゃうと土が流れてくると思うんです。ですから先ほどちょっとそういうお話がありましたけれども、土のほうがちよっと下のほうがいいのかないかなというふうにも感じられます。

- 堀会長　　じゃ、まずモザイクタイル張りのベンチは平らですかというお話です。
- 奥澤氏　　ここはアール状に山型になっているような形になっています。
- 萬田委員　　座りづらいということですね。
- 堀会長　　ここだけフラットになっちゃうんです。
- 杉山委員　　それは立ち上がりじゃないんですか。
- 堀会長　　でも、これは多分40センチですよ、ここが。ここでゼロだから傾斜がついているのかな。
- 高柳氏　　ちょっと補足ですけども、傾斜をつけて座るところは平らにしてモザイクタイルを張らせていただくと、ちょっとCGの技術的にはずっとアール形状になっていますけれども。
- 堀会長　　そうですね。大分フラットな面を長くつくるんでしょう。
- 高柳氏　　そうですね。
- 堀会長　　ここだけに見えるけれども、そうじゃないんですよ。
- 高柳氏　　とご理解いただければと思います。
- 杉山委員　　今のところの追加なんですけれども、コンクリートで立ち上がっている感じなんです、その周りは。
- 堀会長　　そうですね。
- 酒井委員　　こういう感じにされるということですか。
- 杉山委員　　こういう感じですか。
- 堀会長　　そうですね。これの大きいやつ。横のところがこういうふうにすりついているということですね。壁で終わるんじゃなくてすりつけるという、そういう提案です。
- 杉山委員　　じゃ、花壇の周りは全部コンクリートですか、同じように。
- 堀会長　　花壇の周り。
- 杉山委員　　例えば014なんかで植栽帯という意味で言うと花壇と言うのかな、丸いのか左側のちょっと。
- 堀会長　　土留めのことを言っていますか。何のことを言っていますか。
- 杉山委員　　土留めというか花壇の周り。ベンチのそれ全部コンクリート仕様ですよ。

- 堀会長　ベンチはコンクリートですよ。
- 杉山委員　この花壇というか花植えの周りも全部コンクリートということですよ。タイル張るとか何か意匠がつくことはないですよ。
- 宗像委員　座面じゃなくて側面ですよ。
- 杉山委員　側面、立ち上がり。
- 堀会長　それは例えば14ページの右下のこの真ん中に植栽があつて、その周りぐるっと壁が回っている、こういうのはコンクリートですかと、そういう質問ですか。
- 杉山委員　そういう質問です。
- 堀会長　いかがでしょうか。
- 奥澤氏　舗装と植栽帯を分ける縁石というものはあるんですけども、コンクリートで立ち上がっているわけではなくて、ゾロというか同じレベルで一応縁切りをしているというような形の舗装になっています。
- 堀会長　これは大分かたく立ち上がっているように見えているけれども、そんなことはないですか。
- 奥澤氏　左側ですか。
- 杉山委員　左側もそうですし、真ん中も。
- 堀会長　まあまあこれも高い、先ほど言ったように高いんですけども、こことか。こと大分表現が違うんですけども、こっちの感じですよ。
- 奥澤氏　そうです。花壇の部分は立ち上がっています。
- 堀会長　これは立ち上がっているんですか。
- 杉山委員　で、それがコンクリート。
- 奥澤氏　その辺も同じようにモザイクタイルで覆うような形にしたいと考えています。
- 堀会長　構造はコンクリートでしょう。
- 奥澤氏　はい、構造はコンクリートです。
- 杉山委員　少し意匠というか張るという感じなんですね。
- 奥澤氏　そうです。
- 杉山委員　それはこの左側の花壇のところも立ち上がりはそうなんですか。
- 奥澤氏　はい。
- 杉山委員　でも、さっき言ったこれは、メッシュフェンスの上につくような感じであつていくんですけど、左側。

- 奥澤氏 左側の奥からフェンスが始まります。
- 杉山委員 そこまでは張るということ。
- 奥澤氏 そうです。左側の歩道側には、そこまでは行かない。中に入るところの。
- 宗像委員 コンクリートを切って低くすると言っていましたよね。
- 堀会長 こんな高くは行かないです。
- 宗像委員 だからその花壇も低くする。花壇を分けられる。壁だけ切るんですよ。壁は低くすると。
- 堀会長 これでどのぐらい、30センチぐらい。
- 奥澤氏 そうですね。2、30センチです。
- 宗像委員 そういうのももっと低くすればいい。
- 堀会長 植栽に関してはこれからまだ時間があります、一番最後なので植栽は。3年ありますんで、いろいろ意見を出しておいていただければよくご検討いただけると思うので。
- 庄司教育総務課長 わかりました。
- 堀会長 地元の人の意見をまずよく聞いてください。カツラなのかとかというのも地元の人意見を聞けば。
- 杉山委員 もう一つ質問をいいですか。
- 6ページで一番右上に舗装イメージとなっていますけれども、インターロッキングでやるという仕様書がありますが、平面図だと色がこういう色を使っていらっしゃったりしますよね。それとかもう一つ、駐車場の舗装は黄色っぽく、14ページ、かなり黄土色に塗っていらっしゃったりするんですけれども、これはもう決まっているんですか、どちらの舗装面も。どんな方向性でお考えか教えてください。さっき張り方についてはご説明があったけれども、グレーにするということじゃないんですよ。
- 庄司教育総務課長 舗装のイメージ、あくまでもイメージでございますので、まだ決まったものではございません。
- 杉山委員 じゃ、考え方はこういうご提案があって、じゃ、色の面はどんな感じで。
- 奥澤氏 多少色をつけて温かみのある雰囲気にはしたいなとは思っているんですけれども、グレーと白ではなくて少し色が、黄土色みたいな形が入ったような形でいきたいなと考えています。
- 杉山委員 建物とのバランスも考えてするということで、はい、わかりました。

○宗像委員　　ちょっとまた細かいことをすみません。お聞きしたい。

まず5ページを見ていただきたいんですけども、細かいことなんですけど、私も地図の見方はわからないんですけども、学童保育室とか書いてあるところの前に細かい点々と、こういうのがあるんですけど、これが職員室の前とかにあるんですけど、これは何をまずあらわすものか。

それから2点目は、外とかに水道施設というのがあるのかということなんです。

それから、学校ですからまだこれからということなんですけども、例えば飼育小屋とかそういう環境のそういうのはつukらないのかとか。

それから4つ目は、北側玄関の地域の人とのコミュニティーのところのベンチなんですけども、これはどういうものでつukるのかというのをお聞きしたいです。

○庄司教育総務課長　　よろしいでしょうか。

まず学童保育所の南側あるいは職員室の南側、特別支援教室の南側に線があるんですけども、これは日よけでございます。

○宗像委員　　日よけ。

○堀会長　　パーゴラ。

○奥澤氏　　はい、パーゴラです。

○庄司教育総務課長　　それを想定しています。

あと水道につきましては、ここの図面には落としてございません。これから検討してまいります。

それとあとベンチ……

○宗像委員　　今、CGが出たのでついでに聞きたいんですけども、日よけの隣に芝生のところがありますよね。学童保育のところがあって入り口がありますよね、三角の、学童、職員室の右側に。ここですけども、ここは芝生の予定ですよね。この芝生とこの通路の境目は段差とかはないんですか、あるんですか。

○庄司教育総務課長　　つukる予定はございません。

○宗像委員　　というのは、入り口で子供たちは余りそういうのがあると困りますけれども、仕切りがあると段差になって。

○庄司教育総務課長　　極力いたしません。

○宗像委員　　はい、そういうのを。私が言った学級菜園はこれで本当にいいのかという広さの問題。さっきのは日よけですね。

○庄司教育総務課長 はい。

○宗像委員 わかりました。

それから飼育小屋と水道と。

○庄司教育総務課長 飼育小屋はまだこの図面に落としてごさいませんが、南側のプレイコートのように考える予定です。

○宗像委員 はい。南側か。

○庄司教育総務課長 具体的に言いますと、屋外倉庫というのが右側にごさいまして、すみません、こちらは景観には関係ございせんか。もしそれであれば配慮をしますけれども。

○宗像委員 わかりました。いや、そういうのは一応考えているということですね。

○庄司教育総務課長 考えています。

○杉山委員 でも、物置もそういうのも、ちょっと景観というかデザインは考えるということですね。

○宗像委員 学校としては飼育小屋は環境ですから。

屋外の水道とかもこのどこかには屋外、こうやるんですか。

○庄司教育総務課長 もちろんトイレがございまして水道等は当然、飲み水とかの確保ということで考えています。

○宗像委員 校舎側の外とかにはないんですね。職員室の前とかさっきの特別支援の前とか芝のあたりは。

○庄司教育総務課長 それは当然子供たちが体育の授業等で終わった後に、どこに配置するかは別ですけども。

○宗像委員 考えていますよね。

○庄司教育総務課長 それはもちろん。

○宗像委員 とてもそれは大事なので。

○庄司教育総務課長 菜園もございまして。

○宗像委員 じゃ、安心しました。

最後に北側のベンチなんですけれども、四角で2つつけられています。コミュニティー、そうです。木製ですかね。

○奥澤氏 表面に見えているところは、木に見えるような再生木材というのを使いたいなど考えています。

○堀会長　これは高さはどのぐらいですか。大分高いですよ。これで40センチ、通常、ベンチは42センチでつくるんだけれども、子供が使うとすると少し低くてもいいかもしれないですね。

質問いいですか。私から質問、これちょうど見えているので舗装、これはまだらっぽい感じの舗装ですけども、先ほどゲシュタルトという説明があったんですけども、ゲシュタルトは、これはまだらのこういうのは普通地模様とって、ゲシュタルトの舗装と違えるんですけども、こういうまだらの舗装デザインをする理由は何かありますか。それとも先ほどの説明で、暫定的でまだこれから検討ということなんですか。

○庄司教育総務課長　これから検討させていただきます。

○堀会長　ほかにご質問いかがでしょうか。

そろそろ、大分時間がたちましたので、植栽で盛り上がってしまっ。

じゃ、ご質問は一応いただいたということにさせていただいて、意見聴取に入りたいと思います。

本事前協議案件につきましてご意見等があれば、挙手をお願いして意見をいただきたいと思います。いかがでしょうか。今度は意見です。

じゃ、私のほうでまとめますか、先に大体質問が出ているので。

どうぞ。

○酒井委員　先ほどから樹木で盛り上がっていますけれども、私は市の木と市の花であるケヤキとコブシを新しくつくるのであれば象徴的に植えて、子供たちに立川の市民であって、そういう愛情を持ってその木を見守ってもらえるような、そういう植栽計画をしていただけたらいいかと、私はそういうふうに願っています。

○宗像委員　同意見です。今度募集するこの学校の校歌にも、ケヤキ、若葉、富士を入れてほしいというふうに地域、多摩、それになったそうです。そのほかいろいろありますけれども、それが子供たちの要望であるということなので、特に北側は子供たちが集まったり地域の人がよく利用するところなので、もう一度植栽計画を考えていただきたいと思います。

それから2点目、校庭の東側の桜ですけども、これも地域の要望とかで桜ということなんですが、何も全部ヤマザクラで右に倣えでなくて、いろいろな種類の桜もいかなと思いますし、それから30年後とか考えた、5年ぐらいは寂しいかもしれないんですけども、考えてもうちょっと計画的というか、それを考えた本数とかそれから種類を

考えていただきたいと思います。それが2点です。

それから玄関のところのカツラとかそのところなんですけれども、ベンチを設けたりして大変工夫があると思うんですが、先ほどベンチの端っこが緩いカーブになっているんです。子供の安全面からしますと、そこは子供は低いところに目が行かないので、ちょっとそのベンチの端っこに高さを設けていただいて、子供たちが転んだりなんかしないような、そんな工夫もしていただきたいというのを安全面でちょっと考えて、池はだめならばビオトープのほうを工夫していただいて、植栽ばかりじゃない、水、土、そういう子供たちが五感、学校というのは五感を通していろいろ育てているところも、いっぱい情操的なものを育てるところですので、さっきの植栽のところも全部アイビーで埋めないで、シロツメクサとかそういうこともありますし、季節になったらそこに花を植えて季節感を出すとか、そういうことも考えていただきたい。

植栽で私気がついたんですけれども、春の赤系、ツツジと桜は赤系と、ナツツバキとかと割合白の花が咲くそういうのがあるなと思って、春は黄色なんていうのはとても季節感がありますので、そういう木もぜひ中木あたりで、今もう咲き終わりましたけれども、黄色い花を咲かせる木もありますので、ぜひもう少し検討をしていただきたいと思います。

最後に、屋上緑化なんですけれども、市は環境のほうで緑のカーテンとかそういうことも推奨していますので、そういう屋上緑化のほうもどういうふうにしたらいいかということも検討していただきたい。

もう一度最後ですけれども、なるべく丸みのある、これからつくれるものは丸みのあるデザインとかを工夫していただいて、ちょっと遊びのあるそういうことも、高さも1年生から6年生までの幅のある学校ですから、そこら辺をもう一回検討できるところは検討していただきたいと思います。

以上です。

○堀会長　ほかに意見はいかがでしょうか。

○杉山委員　3つほどあります。

1つは皆さんと同じように植栽なんですけれども、今のお2人のお考えは重要かなと思っていて、ケヤキ、コブシ、そして武蔵野の樹木というご意見もあったと思うんですけれども、そういった地元風土に合った植栽ということで樹木を考えていただきたいと思います。先ほどから寿命というお話があるんですけれども、寿命というのはあるもの

で、途中で入れかえていくという長期計画みたいなことを市のほうでもお考えください。ほっておけばいいというような植栽計画というのは別にいいことだとは思わないんです。季節感というのも重要で、子供たちが楽しく自然と向き合っていくとか、変化するとか、自分たちで手をかけるとか、メンテするんだという考え方が、これからはもっと今まで以上に重要になってくると思うので、そういった情操教育というんでしょうか、というようなことを含めて考えてください。それから本当に色の点でも春は黄色とかアジサイだとか、そういう色とりどりみたいな目を楽しませてくれるというプランが根底にあってほしいなというふうに、植物が常緑で手をかけなくて放りっ放しでいいよという印象がちょっと出てくるので、お願いしたいなと思います。

それから色の面なんですけれども、これは質問というよりは意見のほうで持ってまいりましたけれども、レンガがカーキベージュというのでちょっとわからないんですけれども、YR系を中心になさっていますけれども、コンクリートが5Yで、ベースの色が基本色の1が10YR 8/1で、基本色の2が10YRの5/3となっているんですけれども、1つコンクリートと合わせるんだしたら明るいほうの基本色を、2.5Yのほうの流れとかまとまり感としてはいいのかなと、というのも、レンガがわざわざカーキとお書きになっているのでちょっと黄味なのかなと思うと、その辺を実際におやりになるときには、塗装色のようなので塗装の色見本を、少し類似色、近似色をつくって組み合わせを、現物でご確認の上やっていただきたいなというのが希望です。

それとあわせてインターロックの色だとか張り方についても、滞留と移動という動線を示すような張り方とおっしゃっていましたがけれども、そんな考え方も幾つかご提示していただいて、皆さんでご検討いただくといいのかなと思います。温かいという方向性はいいなというふうに思っています。

第3点目ですけれども、私はグラウンドがびしっと、ぴっと決まり過ぎていて、並木も本当に直線的という、宗像委員がおっしゃったようなことにはやっぱり、グラウンドの先にビオトープという、ビオトープはうまく今までいっているんですかね、小学校で。いっていないんで、ビオトープのところを花壇にしてもっと、グラウンドの向こうに花壇が見えるよという景色とか、そういう流れを持った敷地の見え方、だから内側からの景観とか要望を含めてもう少し南面が何か、せっかくの南だからもうちょっと楽しくやっていただきたいなという、グラウンドから南の植栽にかけてですね。ビオトープはなかなか難しいようにどうしても思って、ただ、水たまりで足踏んで汚いななんて、そん

な感じの事例を多く見聞きしているのので、その辺の再検討をお願いしたいなど、以上大きくは3つということをお願いしたいと思います。

○堀会長　ほかにいかがでしょうか。意見です。

それでは、小林副会長から意見を預かっておりますので、読み上げさせていただきたいと思います。「校舎外壁の押出成形セメント板部分について、同一の色彩テクスチャーだと圧迫感が大きくなりますので工夫が必要だと思います」と、このようなご意見をいただいております。

それから、では、私から。

よく練られていると思うんですが、ディテールに関してはまだまだいろいろ工夫の余地があるかと思っておりますので、特に北側広場の植栽、ベンチ、舗装、これらに関しては今後一層練っていただきたいと、やる以上は、立川一ではなくて日本一の小学校を目指してもらいたいので、これからやれることをぜひとも頑張ってもらっていただきたいと思っております。

ほかにいかがでしょうか。

よろしいですか。

どうぞ。

○山口委員　7ページの塗装の部分ですけれども、基本色1、2とありますけれども、小学校などは何十年とかなり長い年月使うことになる。塗装だったならばマンションなどと同じように何年かに一遍メンテナンスしなきゃいけないですね。これを同じ色のタイルで貼るということで、水洗いだけでできるとかそういう工夫はないのかなと、どうなんでしょうか。

○堀会長　ちょっと待ってください。質問ですね。もとに戻させていただいて質問です。

○小林施設課長　全体的にはタイルとなるとメンテナンスコストもかかってまいりますので、その辺を鑑みると、いろいろなパターンを考えた上で、今提案させていただいていることになっているというふうにお考えいただければと。

○山口委員　塗装のほうがメンテナンスしやすいということですか。

○小林施設課長　そうですね。タイルですと剥がれてくるというような危険性も、学校ですと考慮していかなければいけないというところもございます。そういうことも考えてこのような提案をさせていただいているということもございます。

○堀会長　では、意見に戻りたいと思います。いかがでしょうか。

よろしいですか。

ありがとうございました。

それでは、ご意見がいろいろと出ましたので、意見の取りまとめにつきましては、事務局と調整した上で会長一任とさせていただいてよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○堀会長　それでは、これで意見聴取について終わります。

届出者の方、どうもご苦労さまでした。ありがとうございました。退出していただきます。

(届出者 退室)

○堀会長　休憩を入れますか。

○後藤景観係長　時間が押しちゃっているんで、お手洗いとか行かれる方がいらっしゃったら、大丈夫でしょうか。

○堀会長　大丈夫ですか。

じゃ、続けてしまいたいと思います。12時までには終えたいんです。

それでは、次第に従いまして2、その他、立川市景観計画一部変更について並びに平成29年度景観施策実施についてでございます。事務局より説明をお願いいたします。

○武藤都市計画課長　それでは、説明させていただきます。

立川市景観計画の一部変更についてご報告いたします。本件につきましては、平成29年5月19日の第17回景観審議会にて案件説明、平成29年11月17日、第19回景観審議会において諮問を行い、平成29年12月28日付で平成30年4月1日から変更後の運用とする告示を行いました。今回の変更箇所は、届出対象規模の一部変更と事前協議期間の短縮規定の追加となっております。本日机上に資料を配付させていただいております。

続きまして、平成29年度に実施した景観施策について報告させていただきます。

まず11月15日と12月7日の2日間にわたり、第五小学校におきまして校舎の大規模改修にあわせた景観教育を実施いたしました。6年生の児童を対象に「私たち第五小学校の顔をデザインしよう!!」と題しまして、小林先生から正門周りの見え方の重要性等を講義していただいた後、ワークショップとして正門周りのイメージ図をグループごとに作成して発表してもらい、5年生も参加した中で投票によりデザインを決定いたしました。

次に、2月9日に立川市女性総合センター・アイム、第3学習室において、第9回景

観セミナーを開催いたしました。今回は「家を素敵に魅せるエクステリア&緑のコーディネート術～エクステリアを工夫するだけであなたの家も変わります！～」と題しまして、本日の審議会にご欠席ですが、山崎先生に講演していただきました。回収したアンケートを集計したところ、参加した81名のほぼ全ての方に高評価をいただく結果となりました。

また、3月13日には、立川市の技術系職員を中心に庁内景観研修を実施いたしました。「公共施設における景観整備～限られた予算で知恵と工夫と配慮とは～」と題しまして堀先生に講義いただき、講義の後にはグループにおいて実践的な実習を行いました。

以上の事業に関しまして講師を引き受けてくださった委員の皆様、この場をお借りしてお礼申し上げます。

景観学校教育、景観セミナー、庁内研修につきましては、今後も継続してまいりたいと思っております。

このほか、立川市景観計画に基づく景観に係る取り組みの一環としまして、景観表彰制度の検討を始めております。既に他の自治体においては景観表彰を実施しているところがたくさんございますが、立川市では、他の多くの自治体で実施されております、好きな景観の写真の募集や建物そのものを表彰するのではなく、集合住宅や戸建ての街区単位で自主的に行われている良好な景観に寄与する継続的な活動や、住宅の外構等を他の模範となるような良好な都市景観の形成に貢献したものの、周辺に地域資源がある場合には、地域資源との調和が図られ活かされるもの等を中心に表彰するものと考えております。表彰制度につきましては、制度の内容の検討をさらに進め、今後の審議会でご審議いただきたいと思いますと考えております。

説明は以上でございます。

○堀会長 以上の2つにつきましてご意見、ご質問ございますか。

よろしいでしょうか。

ありがとうございました。

それでは、本日用意いたしました議題全て滞りなく終わりましたので、進行を事務局にお戻ししたいと思います。

閉会 午前11時39分